

# 子どものつまずきを解決する！

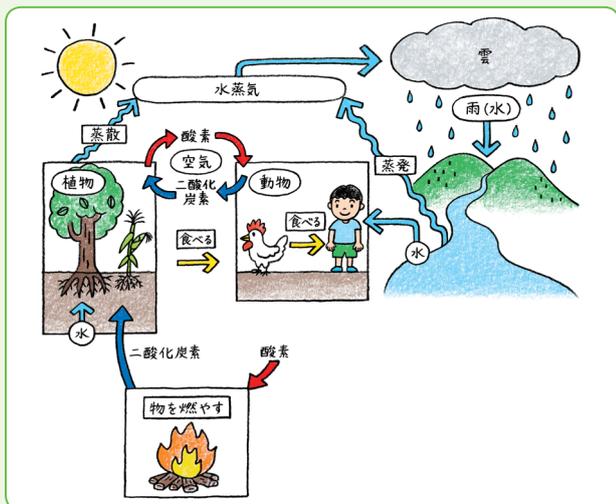
今回の  
つまずきの  
ポイント

前回に引き続き子どもの認知機能に関連したつまずきの事例について考えていきたいと思います。今回のテーマは、因果関係を推測するのが苦手な場合についてです。このことについて、奈良県香芝市立真美ヶ丘西小学校の森井啓史先生、吉川侑花先生、山川倫子先生にお話を伺いました。

因果関係を  
推測するのが  
苦手



## どのような場合につまづくか



「新編 新しい理科6」 p.73 ふりかえろう

因果関係について推測するのが苦手だということは、原因と結果を関係付けるところでつまずいているということが考えられます。小学校理科においては、4年で、根拠のある予想や仮説を発想する力の育成が求められていますが、関係付けの考え方がうまくできないと、ここでつまづくだけでなく、解決方法を考える場面での条件制御や実験後の考察など、様々なところに影響します。また、例えば、6年の生き物と環境のかかわりのように、酸素と植物の関係や水と動物の関係など複数の要素同士の関係を整理して考える場合、要素どうしの関係や食物連鎖の関係をうまく考えることができないということです。

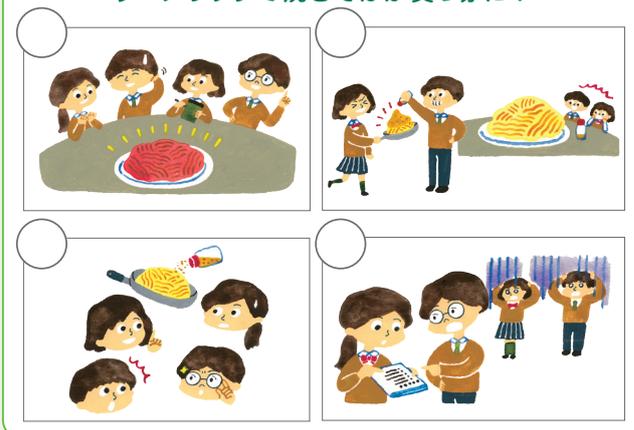
## つまずき解決のための授業実践例

今回は、その対策の一案として、真美ヶ丘西小学校での、6年の生き物と環境のかかわりに関する取り組みを紹介していただきました。森井先生、吉川先生は、この授業を行う前に週2回15分ずつ、認知機能強化トレーニング「コグトレ」の「物語づくり」のトレーニングを1か月ほど行いました。これは、ストーリーのある数枚の絵を、正しい順序に並べ替えるというものです。複数の絵の前後関係を考えることで、正しい順序で関係づける力が付くと考えています。

そして、当該の授業では、植物・動物・太陽・空気・水の描かれたイラストを提示して、関わりのあるものを矢印で結び、それがどのような関係かを書き込む活動を行いました。子どもたちは、思い思いに矢印をイラストの中に書き込み、その関係についてコメントを入れました。2つの要素の関係を考えることに子どもたちの戸惑いなどは見られませんでした。物語づくりのトレーニングが一定の成果を上げていたと考えてよいと考えて

います。予想や仮説設定、考察で悩む子どもに対して、基本的な「関係付けの考え方」ができてきているかどうか、考えてみてはどうでしょうか。

### ターメリックで焼きそばが真っ赤に！



物語をつくるトレーニングのイメージ（編集部で作成）  
例えば、この4コマに順番をつけて物語がつながるようにします。



『コグトレオンライン』は、認知機能強化トレーニング「コグトレ」のWebアプリです。1回5分、楽しみながら、想像力をはじめとした認知機能を育てます。



←スタンプを押したときの絵を想像するトレーニング

詳細、体験版はこちら！



\*「コグトレオンライン」には、「物語づくり」のトレーニングは入っていません。